

2011年度(平成23年度) 第116回日本解剖学会総会・学術評議員会記録

日 時：2011年(平成23年)3月27日(日)13:40-14:50

場 所：東京大学医学部教育研究棟2階 第4セミナー室

開会の辞 岡部庶務担当理事より、事前に寄せられた書面評決状は総数1,086通、うち各議事の賛否数(賛成/反対)は一号議案1,083/3、二号から六号議案1,084/2、七号、八号議案1,083/3、九号議案1,079/6である事が報告された。本日の出席者13名を合わせると合計1,099名で正会員総数2,091名の過半数(1,046名)を上廻り、定款31条に定められた定足数を超え成立していることが確認された。また、学術評議員会に関しては292通の署名表決が得られており、学術評議員総数391名の1/5である79名以上の参加があった為、本会が成立していることが確認され、開会が宣せられた。

議長選出 岡部庶務担当理事より議長として高野吉郎 東京医科歯科大学教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。続いて議長より副議長に寺田純雄 東京医科歯科大学教授、書記に吉川雅英 東京大学教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。

I. 議事録署名人の選任

岡部庶務担当理事より議事録署名人として、武井陽介 東京大学准教授、田中慎二 東京大学助教を推薦したい旨、提案があり承認された。

II. 理事長報告

内山理事長より東北地方太平洋沖地震に伴って総会が中止になった経緯が説明された。次に解剖学会将来計画委員会に関する報告と、その議論を継続・発展させた上で解剖学会の将来を担保していく旨の表明を行った。また、解剖体の取扱いに関する新たな法制化に関する説明が行われ、これに対する学会の対応について説明があった。更に、解剖体の展示に関するガイドラインの制定に関しても説明があった。大震災、原発事故などと今後の科学の在り方についての意見表明を行って挨拶を終えた。

III. 報告事項

1. 会員報告

平成22年12月31日現在、正会員2,032名、名誉会員110名、永年会員116名、賛助会員45名、団体会員56名、海外会員17名である旨、報告があった。

2. 物故会員

19名の物故会員の氏名が朗読され、続いて出席者全員により黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新学術評議員紹介

教授就任による新学術評議員11名の紹介が資料に基づきおこなわれた。

4. 各種規約の改定

1) 社団法人日本解剖学会旅費規程、2) 社団法人日本解剖学会会計処理規則、3) 社団法人日本解剖学会公印取扱いに関する内規、4) 会費規約、5) 解剖組織技術士認定規約、6) 学術評議員選出規約、7) 解剖学雑誌について、8) 日本解剖学会奨励賞規約 以上8項目の規約・規程等の改正が資料をもとに報告された。

5. 人体標本の展示に関するガイドライン

資料に基づいて説明があった。

6. その他

IV. 審議事項

1. 新永年会員の件

理事会より推薦の7名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

2. 申請による学術評議員の件

理事会より推薦の11名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

3. 平成22年度事業および業務監査報告の件

①学術集会開催状況、②会議開催状況、③学会誌刊行状況、④委員会報告 1) 編集委員会 2) 解剖組織技術士資格審査委員会 3) 解剖体委員会 4) 解剖学用語委員会 5) 海外交流委員会 6) 教育委員会 7) 情報技術委員会 8) 学術委員会 9) コ・メディカル教育委員会 10) 倫理委員会 11) 将来計画WG ⑤研究の奨励および業績の奨励、平成22年度奨励賞受賞者(3名)、技術士功労賞受賞者(2名) ⑥内外学術団体との協力ならびに連絡、⑦技術士認定 1級技術士合格者(3名) 以上

の7項目について、各々資料をもとに説明がおこなわれ、承認された。

4. 平成22年度決算および会計監査報告の件

平成22年度決算について資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果、承認された。また渡辺雅彦監事による事業・会計の監査報告がおこなわれ、小出将恵公認会計士による監査報告書とともに承認された。

5. 平成23年度予算および事業計画の件

資料をもとに説明が行なわれ、審議の結果承認された。

6. 平成24年度予算執行の件

平成24年度予算執行に関し、総会開催までの1～3月分の予算執行については理事会に一任することが承認された。

7. 第119回（平成25年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

自治医科大学を推薦するとして理事会の提案が承認された。

8. 平成23・24年度役員選任の件

資料をもとに説明が行なわれ、審議の結果承認された。

9. 一般社団法人への移行の件

一般社団法人移行に伴う定款改定に関する説明があった。この中で(1) 目的、(2) 事業、(3) 会議に関わる改定案の説明があり、審議の結果承認された。

10. その他

岡部理事より誌上開催になった第116回全国学術集会関連予算に関する説明があり、返金される部分に関してはその執行期限を新常務理事会で検討していく旨の説明があり、承認された。

V. 第117回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

標記総会・全国学術集会副会頭 竹田扇 山梨大学教授より準備状況の報告と挨拶があった。

閉会の辞 高野議長より閉会の辞が述べられ、平成23年度（第116回）総会・学術評議員会が終了した。

上記の2011年度（平成23年度）総会・学術評議員会の議決及び確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2011年（平成23年） 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人